

令和4年7月3日

## 第90回談話会 報告

談話会世話人 津下 和永

6月14日にWeb会議方式で標記談話会を参加者15名で開催しました。

### 【内容】

話 題：再エネ・ボランティア目線によるカーボンニュートラルの論点

講演者：泉名 政信 様

ボランティアとして太陽光発電の普及と啓蒙に携わってこられたご経験に基づき、以下の内容にてご講演戴きました。

- ①政策としてのカーボンニュートラル（背景・経緯・現状等）
- ②太陽光発電普及の現状と課題（事業認定容量が尻すぼみで、必ずしも受けがよくないが、それでも増やすしかない。）
- ③エネルギー需給システムのあり方について（エネルギーをご近所で分け合える仕組みが有効と考えるが、類似の政策「スマートシティ」構想はうまく行っていない。技術論やビジネス視点とは異なる何かが必要。）

終了後、オンライン懇親会を開催しました。

### 【世話人記】

昨今の電力需給問題にも関わるテーマであり、皆様からたくさん感想を戴きました。一部になりますが、以下にご紹介します。

- ・色々な知識を得ることができましたが、特に欧州の事情＝BRPの存在は、目からうろこでした。あのような電源のコントロールという視点がないと、最近目にする太陽光発電の「出力抑制」というような事態が発生するのは当たり前かと思えます。欧州などの先進国のノウハウをもっと活用すべきだと思います。出力制限要請が出たかと思えば、今年の夏は電源が不足するので「節電要請」とか．．．送電設備が貧弱なこともこれから問題になってくるでしょう。全体最適化というソフトウェアが必要だと痛感させられました。
- ・時節に合ったお話をいただき、ありがとうございました。このようなボランティアもあるのだと感心させられました。エネルギー（電力）の地産地消も必要とのご説、ごもっともだと思いました。ただし、核融合を含む原子力発電の立ち位置をどうするのか、十分な議論が必要だとも思いました。与野党を問わず一部の国会議員は、原発廃止を主張していますが、私には無責任極まりないように思えます。

- 分厚い談話会資料の作成、ご苦勞様でした。時間が不足気味で、説明頂いた資料の内容に当方の理解が追いつかなくて困りましたが、改めて頂いた資料をゆっくり見返して考察し、現在の世界の動向と我々が今後取り組むべき活動等について理解を深めて行きたいと思います。
- 非常に客観的で充実した内容で、ためになりました。ただ、太陽光パネルの利用を拡大することが、日本にとって良いことか疑問に思っています。このエネルギー問題は非常に大事です。また 真の環境問題も大事です。利権等にも影響されなく、本当に何をしなければならないかを考えねばならないのではないかと思っています。
- 大変緻密で丁寧なレクチャーに感謝しています。私見ですが、コミュニティ一群として、EVの充電地と変動するPV出力の連動ができればと思っています。最近発表された三菱と日産の軽自動車には20KW程度の電池が載っているようで、600円の電気代で180km走れるようです。家庭充電できるタイプですので、各コミュニティが必要台数確保して共有で乗れるように、充電も分散発電器からとれるようにすればペイするのではないかと思っています。

以上